

Zoomによるオンライン参加OK!

令和5年度鶴岡市地域課題解決事業

公益とSDGs連続講座



最終回

「質の高い教育をみんなに」

2024年3月11日(月) 午後6時30分～8時15分

会場 東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホール 参加料 無料

参加方法・定員 来場50名・オンライン50名 (要事前申し込み・定員に達し次第締め切ります)

コモンズと地域のレジリエンス

京都大学大学院
農学研究科研究員・名誉教授
2024年4月より
東北公益文科大学 教授として着任予定

梅津 千恵子 氏



専門は環境資源経済学(ハワイ大学Ph.D)。京都にある総合地球環境学研究所で南部アフリカのザンビアをフィールドとする「社会・生態システムの脆弱性とレジリエンス」プロジェクトのリーダーを務めた後、長崎大学、京都大学で教育・研究に携わる。ケニアの田舎の中学校でボランティア教師をした経験がある。

公益大とSDGs

東北公益文科大学 学長・教授
神田 直弥 氏



早稲田大学人間科学部助手を経て、2005年4月より本学講師。准教授を経て2015年4月より教授。2020年4月より学長を務める。専門分野は、安全人間工学、交通心理学。自転車の事故防止や交通安全教育、高齢ドライバーの事故防止、公共交通の利用促進等に取り組んでいる。

令和3(2021)年度より3年に渡り開催してきた「公益とSDGs連続講座」。最終回は、SDGs 17の目標のうち「No.4 質の高い教育をみんなに」がテーマです。前半では、学長 神田直弥より、東北公益文科大学が目指す教育とSDGsへの貢献についてお話いたします。後半では、ゲストとして京都大学大学院名誉教授の梅津千恵子氏をお招きし、地域のコモンズ*1を発掘・創出しながら地域のレジリエンス*2に結びつける大学の役割などをお話していただきます。

*1 コモンズ (commons): もともとは「入会地」、「共有地」を指し、自然資源の共同管理制度、およびその対象である資源そのもの
*2 レジリエンス (resilience): 「回復力」「復元力」「弾力性(しなやかさ)」「変革する力」

コーディネーター 東北公益文科大学大学院 公益学研究科長 武田 真理子



お申し込み・お問い合わせ

東北公益文科大学 大学院事務室

申込方法 電話 0235-29-0555 メール gs@koeki-u.ac.jp Webフォーム <https://forms.gle/3jnUSZN2eLMM9u1A8>

申込内容 「公益とSDGs連続講座」
①氏名 ②氏名よみ ③電話番号 ④メールアドレス ⑤住所(市区町村名まで)
⑥所属(企業名、学年等/任意) ⑥参加方法(来場またはオンライン)

申込締切 2024年3月7日(木)



来場・オンライン参加、それぞれのご案内をチラシの裏面に掲載しています

令和5年度鶴岡市地域課題解決事業

公益とSDGs 連続講座



● **日時** 2024年3月11日(月)
午後6時30分～8時15分

● **会場** 東北公益文科大学
鶴岡キャンパス 大学院ホール



● タイムテーブル

午後6時30分	開会のあいさつ
6時35分～7時15分	公益大とSDGs 東北公益文科大学 学長・教授 神田 直弥
7時20分～8時00分	コモンズと地域のレジリアンス 京都大学大学院 農学研究科 研究員・名誉教授 梅津 千恵子 氏
8時00分～8時15分	質疑応答

● オンライン参加の方へのご案内

当日は「Zoom ミーティング」または「Zoom ウェビナー」を用いて開催します。

- 使用機器および通信料は受講される方に負担いただきます。
- 映像・音声の乱れ、インターネット回線のトラブルによる一時中断等が発生する場合があります。
- 参加者の Zoom 接続に関する不具合等については、対応いたしかねます。
- Zoom の ID・パスコードと講師提供資料は、前日までにメールにて送付します。
- 管理の都合上、参加時のメールと名前はお申し込み時と同じ内容を入力してください（姓のみで可）。
- 主催者の記録および配信の技術向上を目的に、録画を行います。
- 禁止事項
 - ー 動画の録画・録音・写真撮影・プリントスクリーン（スクリーンショット）等による記録および配布
 - ー 申込者以外への URL・ID・パスコードの共有や、他の媒体への転載

